

令和2年4月10日

厚木市長 小林常良様

100億円以上ある厚木市財政調整基金を使い、市民に救いの手を
申出書/新型コロナ対策

新型コロナウイルスの影響が家計に出た厚木市民への救済(助成)を提案します。
今こそ、「厚木市民で良かった」と実感できる市独自の政策を実行する時です。

101億円	厚木市財政調整基金 (貯金)	企業への還付準備金などを除いた額 令和2(2020)年度末見込み
15億円	繰越金	平成31(2019)年度末の実績

厚木市は昭和39(1964)年度以降、国から地方交付税交付金を受けずに、財政運営を行っています。つまり、厚木市は、財政的に豊かな地方自治体です。

救済策の必要性は、今年度のみならず、何年間かにわたると思われまます。対象は、職種を限定しないことが望ましいでしょう。

「家計に影響が出た」とする線引きや助成額について、早急に協議を始めることを申し出致します。

厚木市議会議員
高田ヒロシ